

留 学 報 告 書

記入日:2019年7月31日

所属学部／研究科・学科／専攻	法学部法律学科国際関係法コース
留学先国	フランス
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ランス大学 現地言語: Université de Reims Champagne-Ardenne
留学期間	2018年8月～2019年7月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	法学部 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年7月10日
明治大学卒業予定年	2019年9月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:九月上旬～1月上旬 2 学期:一月上旬～7月上旬 3 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	22971名
創立年	1971年

留学費用項目	現地通貨 (ユーロ)	円	備考
授業料		円	協定留学のためなし
宿舍費	3800(380×10か月)	456000円	
食費	2500(250×10か月)	300000円	
図書費	20	2400円	
学用品費	20	2400円	
教養娯楽費	100	12000円	
被服費	200	24000円	
医療費	0	0円	
保険費		円	形態:
渡航旅費		80000円	
雑費	380	45600円	トラムの定期券購入
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	7020	922400円	1€=120円で換算

渡航関連

渡航経路:羽田ーパリ直行便

渡航費用

チケットの種類	エコノミークラス
往路	4万
復路	4万
合計	8万

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

エールフランス航空

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

アパート

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数)

3)住居を探した方法:

不動産屋のインターネットサイト

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

大学の近くには学生向けの寮があり、そこもそれなりに安くて綺麗で楽しいが、市内中心部まで tram に乗る必要があるのと、一人暮らしが良かったためアパートを探した。自分の滞在先はお年をめたおばさんの大家さんが学生向けに貸してくださっているところで、19 世紀前半に建てられた建物なので古いところも多いが、基本的にとても居心地もよく、市内中心部で駅も近いと利点も多かった。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会がなかった
利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

大学にも一応窓口はあったが、基本的に自分でなんとかした。もしくは大家さんに相談したこともあった。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外務省の旅レジに登録したのと、地元紙には定期的に目を通していた。
燃料税引き上げに関してフランスではかなり大規模なデモが行われており、それに伴ったストや火災、商店への投石などがあったが、巻き込まれるほどではなかった。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

安い SIM カードを買って、日本で SIM ロックを外したスマホを使っていたのでなにも問題はなく、大学内は wi-fi が使えるのでそこも問題がなかった。アパートも Wi-Fi があって問題はなかった。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地で口座を作ったのと、日本の口座のキャッシングで少額を引き出した。基本的にクレジットを使って生活していたので大きな問題はなかった。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

マイ箸的なもの(ナイフやフォークより便利)、箸(自炊するならかなり役立つ)、日本茶の茶葉(お土産にしても自分で飲むにしても無駄にならない)

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

卒業後の進路について

1) 進路
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。 フランスは日本のような就職活動がないので、日本で4年ですぐ卒業して働くことがすべてではないと気が付かされた。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
9単位	<input checked="" type="checkbox"/> 6単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Untroduction science politique	政治学入門
科目設置学部・研究科	法学部
履修期間	前期
単位数	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Mme.Camille Froidevaux-Metterie
授業内容	現在の政治について、第二次世界大戦から振り返る。他にもフェミニズム運動や現在のフランスの政治情勢が主。
試験・課題など	オーラルテストのみ(非留学生はペーパーテストもある)
感想を自由記入	イントロダクションとあり、一年生向けだが内容は日本で習わないことが多く(例:かなり事細かなフェミニズム運動について等)、とても苦勞した。特定のむこうでは前提の知識とされる政治学者(例:ハンナアーレント等)の著作なども使われるのである程度の覚悟が必要。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction Historique au Droit		法制史	
科目設置学部・研究科	法学部		
履修期間	前期		
単位数			
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に180分が1回		
担当教授	Mme.GIONNOZZI		
授業内容	古代から近世までの法制史		
試験・課題など	オーラルテストのみ(非留学生はペーパーテストもある)		
感想を自由記入	大学入試の世界史の法制史の部分をかなり細かくしたようなもの。ローマ皇帝も法学者も全員フランス語読みなので一瞬誰かわからない。日本ではまったく名前の知られていないような法学者もやるので、興味がある人にとっては楽しいものだろう。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Droit Constitutionnel 1		憲法	
科目設置学部・研究科	法学部		
履修期間	前期		
単位数			
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に180分が1回		
担当教授	M.COUTANT		
授業内容	イギリス(マグナカルタ～現代)、アメリカ(独立～現代)、フランス(革命～第四共和政まで)の憲法史、統治機構についてすべて		
試験・課題など	オーラルテストのみ(非留学生はペーパーテストもある)		
感想を自由記入	単純に範囲が広い。内容的には理解できる(日本でも学ぶことがある)ものだが、範囲がとても広く単語としてではなくしっかりとどうということなのか記憶して、話せるレベルまでになるのはかなり大変。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Droit Pénal Général		刑法総論	
科目設置学部・研究科	法学部		
履修期間	前期		
単位数			
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に180分が1回		
担当教授	M.TCHENDJOU		
授業内容	フランス刑法の総論		
試験・課題など	オーラルテストのみ(非留学生はペーパーテストもある)		
感想を自由記入	内容的には多少の差異はあるものの、日本の刑法総論と似ている。具体的には錯誤など。テストは語句問題や一行問題のようなものだった。他の授業に比べて、日本と同じロジックが使えるので、単語を覚えれば意外とすんなり入ってくる授業だった。とはいえこの授業だけではないが、日本で一年かけてやるものを半期で試験範囲もなしに全部やるので大変ではある。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Relations Internationales		国際関係論	
科目設置学部・研究科	法学部		
履修期間	前期		
単位数			
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に180分が1回		
担当教授	M.OKIEMY		
授業内容	国際関係論と国際法、国際私法の内容を横断的にやった。		
試験・課題など	オーラルテストのみ(非留学生はペーパーテストもある)		
感想を自由記入	三年生向けでかなり専門的なことも多かったが、日本で国際法を履修していたため、単語がわかるとすんなり内容は理解できた。他の授業に比べて少人数だったのも意外だった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Droit Constitutionnel 2		憲法	
科目設置学部・研究科	法学部		
履修期間	後期		
単位数			
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に180分が1回		
担当教授	M.BOUDON		
授業内容	第四、第五共和制のフランス憲法(統治)		
試験・課題など	オーラルテストのみ(非留学生はペーパーテストもある)		
感想を自由記入	折角フランスなのだから、民法か憲法はとろうと思ってとった憲法の授業。個人的には前期より難しかった。現代のフランスの問題(マクロンや黄色いベスト運動、国民投票など)と絡めて語られるので知識としてのフランス憲法だけではついていけない。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Droit Comparé		比較法	
科目設置学部・研究科	法学部		
履修期間	後期		
単位数			
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に180分が1回		
担当教授	M.CERQUEIRA		
授業内容	ブラジル、中国、ヨーロッパの比較法		
試験・課題など	オーラルテストのみ(非留学生はペーパーテストもある)		
感想を自由記入	ブラジルの法律などは日本で学ぶ機会も少ないので興味深かった。		

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	
4月～7月	DELTA(語学試験)の試験勉強と試験
8月～9月	
10月～12月	出願
2018年 1月～3月	
4月～7月	むこうでの家探し、航空券の手配
8月～9月	ガイダンスと語学学校(学期前の留学生向け)
10月～12月	前期授業、国際交流のイベントが定期的にかかれた
2019年 1月～3月	1月にテスト
4月～7月	後期授業、国際交流のイベントや連休がある。5月6月はテスト
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	大学入学前からフランス語を学んでいたので大学でもそれを伸ばしたいと思っていたからと、自分は法学部なので、学部と絡めて学びたいと思ったからです。そして明治大学は法律学校ということもあり設立者のようにフランスで法律を学んでみたいと思ったからです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	授業はすべて口頭で先生が一方向的に話をするだけで、板書もパワポもないことや、テストの形式が口頭面接であることなど覚悟していたとはいえかなり難しいので、もう少しリスニングなどを鍛えておけばよかったと思いました。
この留学先を選んだ理由	正直どうしてもランスがいいと思ったわけではありませんでした。しかし、自分の恩師が30年前に他学部でしたがそこで学んでいたことや、現在お世話になっている法学部の先生とランス大学の先生に交流があるなど縁や運命のようなものを感じたからです。
大学・学生の雰囲気	学生数も多く、医学部などもあって多種多様な生徒がいます。のどかな田舎に位置しているので、大学もとても雰囲気はいいです。フランスにしては建物はきれいで図書館も居心地がかなりいいです。
寮の雰囲気	自分は寮ではなかったので詳しくはわかりませんが、寮の友人はパーティなどを週末にひらいていました。
交友関係	語学学校でできた他のヨーロッパの学生とパーティやピクニックなど行きました。他にもタンデム学習のフランス人の生徒と仲良くなって家に呼ばれたり温かい人に恵まれました。
困ったこと、大変だったこと	日本人が自分しかいなかったこと、前例がないので情報収集をはじめとても苦労しました。何事も初めて、前例がないということで自分が動かないとなにも始まらないのでわからなくてもしつこく聞いたり訪ねたりしました。出国前に色々あり、着いてから家を決めるということになったのですが、それもかなり骨の折れる作業でした。また年末に貝にあたり、食中毒で三日ほど一人で苦しんだのが個人的には一番大変でした。
学習内容・勉強について	授業は基本的にどの授業も出席もなく、先生が三時間一方向的に話すだけで、それをひたすらパソコンで打ち込むもので、それで教科書を作り上げます。自分にはかなり難しいものだったので、学部生の Facebook グループに入れてもらい、毎週誰かしらにノートをねだりました。留学生は対象ではないのですが、少人数の授業もあるようで、聴講は可能です。ただ、講義の復習をするので手一杯なのが基本です。
課題・試験について	少人数のクラスは課題があるのですが(規定箇所を読む等)留学生には関係ありません。講義の復習をした方がいいです。テストは試験範囲もなく、口頭でその場で主題を籤で引いて答える DELF などの口頭試験に近いものでした。留学生だからといって特に手心があるわけでもないので真面目に頑張りましょう。

大学外の活動について	ランス市はあまり大きくないので、週末はパリやストラスブールなど近郊の町に遊びに行きましょう。SNCF の割引券などがあると便利です。
留学を志す人へ	日本の法学部の大学生活に比べてかなり大変です。日本でも法学部は大変な学部ですが、むこうは法曹を目指す人がかなりいたり真面目に勉強させます。授業もアジア人が教室に誰もいないのでとても目立ちますし、慣れるまでは精神的にきまず。なんとか一緒に受ける人を見つけて「一緒に受ける仲間」を見つけましょう。諦めてはダメです。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中		授業	授業	授業	授業		
	起床	授業	授業	授業	授業	起床	起床
午後	買い出し	勉強	勉強	勉強	勉強	観光 or 友人と会う	観光 or 友人と会う
	勉強	帰宅	帰宅	タンデム	授業	観光 or 友人と会う	観光 or 友人と会う
夕刻	散歩	語学学校	語学学校	タンデム	授業	買い出し	観光 or 友人と会う
夜	就寝	家事	家事	家事	家事	家事	家事